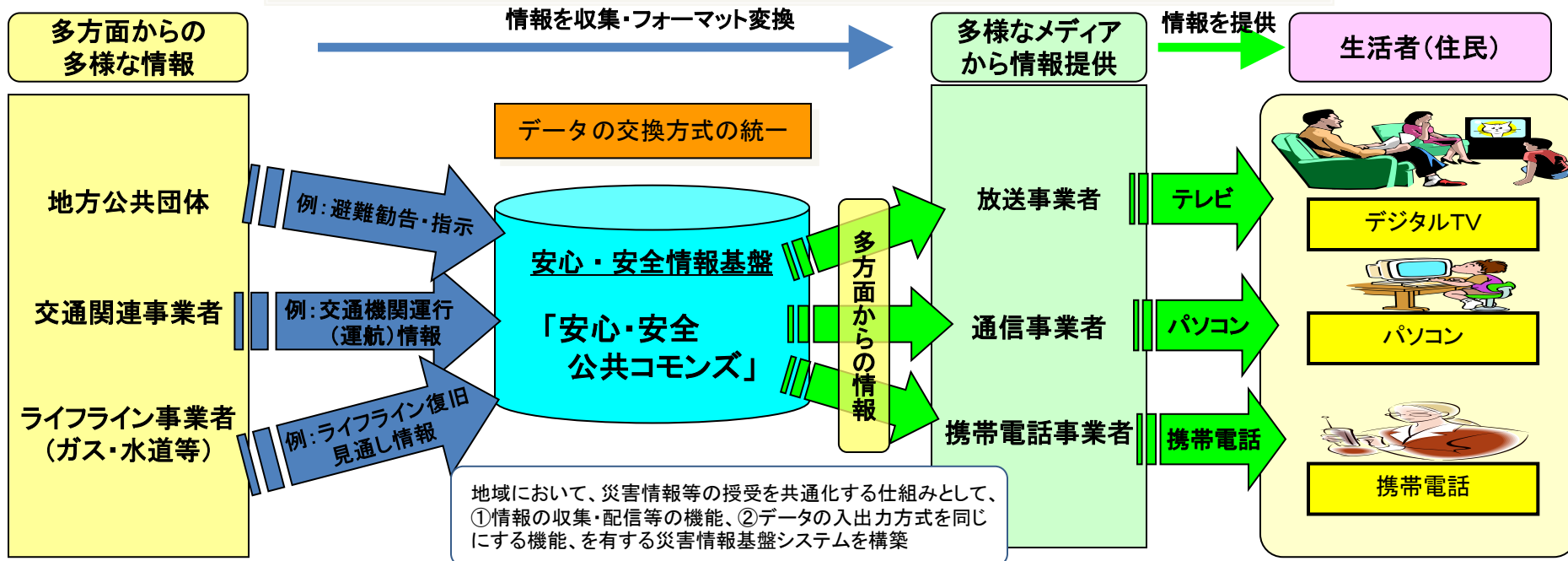


# 安心・安全情報基盤『安心・安全公共commons』の概要

多様なメディアを活用して、高齢者をはじめ誰もが、いつでもどこでも、分かりやすい形式で地域の安心・安全に係るきめの細かい情報を迅速に入手できるようにするための具体的な仕組みを、早急に構築することが喫緊の課題

住民への情報提供が容易な『安心・安全公共commons』の構築が必要



## 平成21年2月 東海地域において実証実験実施

○ 東海地域において、総務省東海総合通信局主催の検討会での、東海地域における実証実験の在り方の検討を踏まえ、産官学から構成された「安心・安全公共commons東海実証実験協議会」が主体となり、実験用のシステム構築を行った上で、試行的な実証実験を実施。

第1回:H21. 2. 5

第2回:H21. 2. 25

## 平成22年3月8日(月) 複数地域での実証実験(予定)

(「地域情報プラットフォーム推進事業」防災分野(イ)  
『多様なメディアによる住民への災害情報等の提供』)

○ 近畿、東海地域を中心として、自治体職員による災害情報の発信から住民が受け取るまでの一連の過程のシナリオ実験を実施する。

- (1)自治体職員による災害情報の入力
- (2)自治体職員、放送事業者等による災害情報の確認
- (3)データ放送の受信イメージの作成 など